



東日本大震災県内避難者支援－茅ヶ崎開催参加報告

1.日時 H24.10.21 (日) 13時30分～15時30分

2.場所 茅ヶ崎女性センター

3.参加者 被災者 11名 (内子供2名)

主催者側 約30名 (かながわ東日本大震災ボランティアステーション 高松清美コーディネーター他、福島県星職員1名、県社会福祉士会数名、県市街避難者見守り隊 福田コーディネーター他、茅ヶ崎社協杉崎事務局長、茅ヶ崎市男女共同参画課 大西課長他、市民相談課久永課長、小野寺職員、弁護士2名、他

TAJ 11名 (かわちだけんろう、おおさわけい、たなかかよこ、おのまひろし、おのまあきこ、ほそやかずひこ、まなべまい、こでらしんご、さいとうまゆこ、くさかけいこ、いけだたかし。

4.開会挨拶 高松清美 かながわ東日本大震災ボランティアセンターコーディネーター
久永 茅ヶ崎市民相談課長 (出席者紹介と開催趣旨)

5.報告事項

- 参加被災者大人9名の内、法律相談希望者6名で、全員が相談出来た。
- 法律相談の合間に、約100名収容の大会議室にテーブル5台に被災参加者が適宜着席し比較的ゆったりした雰囲気なかで、被災者の言葉に耳を傾けるとの趣旨で、各テーブルごとに主催者側の人間が着席し進行した。
- 参加者の声としては、このような機会は被災してから始めてであり、感謝していること、外出には不慣れでなかなかままならない事、等の悩みが多く見受けられた。
- 今回のような県内被災者の交流会は、来年3月末まで計25回行われ、茅ヶ崎では来年2月17日に2回目が開催予定である。

6.TAJ 参加者の総括

TAJ としては、今まで被災地での支援活動、茅ヶ崎が被災したときの対応策等に目を向けて活動してきたが、これからは被災地からの避難者支援にも目を向けて活動が必要では、との認識で一致した。

以上報告 池田 孝

